



令和5年1月10日発行 (毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

2023

1

No.467

と も え



CONTENTS

新春特集

久保会頭体制3期目始動!

函館のために、会員のために、

令和5年本所が取り組むこと

新春紙上名刺交換	P 8
会員NOW	P14
第64回優良商工従業員表彰式	P24



新年あけましておめでとうございます。
昨年も多数の退職自衛官の採用にご協力いただき
誠にありがとうございました。
本年も引き続きよろしくお願ひいたします。

謹
賀
新
年



退職自衛官の魅力

幹部

リーダーシップ
管理能力

遵法精神
強い責任感

准・曹

指導能力
技術力

士

団結力
体力

《退職自衛官採用に関するお問い合わせ取次先》
自衛隊函館地方協力本部援護課 道南地域援護センター
電話：0138(32)0488 (FAX兼)



と も え

1月号
(通巻467号)

旧年中は格別のお引立てを賜り
厚く御礼申し上げます。
本年が皆様にとって、良い年で
ありますよう心から
お祈り申し上げます。

謹賀新年

■今月の表紙

北海道の正月文化「口取菓子」

口取菓子は、北海道や東北地方の一部の正月文化として、白あんの練り切りで縁起物のエビやタイ等の形に色鮮やかに整えた郷土菓子です。

撮影にご協力いただいた銀月(湯川町2-22-5)では、北海道の正月文化を伝承するべく、エビやタイに加え、はまぐりやたけのこ、日の出の練り切り、羊羹と栗きんとんを詰め込んだ口取菓子を、良いお正月が迎えられようと心を込めて例年約250個製造しています。

この練り切りですが、昨年10月、芸能や技術といった形のない文化を保護するため、創設された国の「登録無形文化財」に登録されました(登録の正式名称は「菓銘をもつ生菓子(練切・こなし)」。コロナ禍による需要落ち込みから回復傾向がみられる和菓子業界に、さらなる追い風となることが期待されます。

日本の伝統的な和菓子の文化をこれからも大切にしたいですね。



CONTENTS

- 2 年頭所感 函館商工会議所 会頭 久保 俊幸
- 4 新春特集 久保会頭体制3期目始動!
函館のために、会員ののために、
令和5年本所が取り組むこと

8 新春紙上名刺交換

14 会員 NOW

- マルジョウ多喜屋: 自慢の逸品を伊勢神宮に奉納

15 はこだてFOODフェスタ2023

16 中小企業相談所だより

- 個人事業者の確定申告に係る納税相談会ご案内
- 知的財産基礎セミナー 商標編 ~自社の製品を守るために~
- 「働き方改革」専門相談をご活用下さい!
- 個別専門相談ご案内

18 会議所のうごき

- 第1回常議員会
- 7部会開催
- 函館市台湾トッププロモーション
- 北海道商工会議所連合会主催による中央要望活動
- 北海道商工会議所連合会 第187回常議員会・第197回臨時会員総会合同会議
- (株)はこだて西部まちづくRe-Design
- 2022はこだてクリスマスファンタジー
- 第17回函館歴史文化観光検定(はこだて検定)
- 日本珠算連盟函館支部 第30回日本珠算連盟優良生徒表彰式
- タックスフェア2022
- 女性会
- 青年部

24 第64回優良商工従業員表彰式

26 ご案内

- 新入会員のご紹介
- 函館商工会議所会員限定割引!
函館五稜郭病院PET/CTがんドックのご案内
- 事業承継の対策は特例がある今がチャンス

28 連載コラム 職場のかんたんメンタルヘルス

- 「思い込みから解放されるとマネジメントが楽になる」
言葉の力「整える」

29 函館青色申告会より年頭挨拶

30 青森商工会議所会員事業所のご紹介

- キズナペーカリー

広告掲載企業

自衛隊函館地方協力本部
北海道ガス(株)函館支店
損害保険ジャパン(株)南北北海道支店函館支社
函館青色申告会
弁理士法人英知国際特許商標事務所
函館環境衛生(株)
CAROMELI&JENICO(株)
(株)中小企業基盤整備機構北海道本部
龍文堂印刷(株)
(公財)日本電信電話ユーザ協会函館地区協会
(公社)函館市シルバー人材センター
(一財)あんしん財団北海道支局函館支所
北海道 デジタル化マッチング商談会2022
第10回青函パートナーシップ構築懇談会
日本商工会議所 情報漏えい賠償責任保険

表紙裏
裏表紙裏
裏表紙
誌面内
段下
段下
段下
段下
段下
折込
折込
折込
折込
折込
折込

年 頭 所 感

「中小企業の自己変革や 民間投資を呼び起こす経済対策を」



函館商工会議所 会頭

久保 俊幸

明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

転換期

地域の中小企業者は、3年に及ぶコロナ禍を経て、新たな問題に対処しなければならない状況となっています。コロナ禍としては、世界的に小康状態に向かう中で、地政学リスクも相まって食料等の資源価格、ガソリン等のエネルギー価格が高騰し、しかも円安がその影響を大きくしており、内需型の中小企業や家計がデメリットを被っています。加えて、構造的な問題である人手不足がこれから顕在化してきます。コロナ禍で必死に雇用を守ったとは言え、生き残るためにやむを得ず従業員を手放さざるを得なかった企業もあります。特に当市の主力産業である観光業等は、新型コロナの感染状況が落ち着き、水際対策が緩和されようやく人流が戻ることに期待を寄せつつも、今度は人手不足によって回復しつつある需要に対応できないという悩ましい状況に置かれています。

企業が生き残るためには、環境変化に併せて自己変革しなければなりません。これは単に、生き延びるという意味ではなく、生まれ変わるという意味です。

例えば、雇用調整助成金は、これまで解雇しないように、企業が倒産しないように、給付が続けられてきましたが、これからは、成長産業への労働移動も求められることとなります。コロナ禍の経験を通じて、当初の「苦境に陥った企業すべてを助ける」というステージから「自ら変革に挑戦する企業を支援する」というステージに、政策の軸足が変化しています。

人手不足と価格転嫁

今後、人手不足の深刻化と物価上昇が同時進行すれば、当市でも賃金上昇圧力が高まってきます。一方、中小企業の労働分配率は70~80%程度で、すでに付加価値の80%程度は人件費として支払われている状況下で、賃上げすることは難しく、どのようにして賃金の原資となる付加価値を増やすのか、ということが重要となってきます。現在、業績の改善がみられないなかで人材確保・定着のためのいわゆる「防衛的な賃上げ」を行っている企業が、賃上げ企業の70%程度を占めています。付加価値を増やすために、BtoBに関しては、価格転嫁等取引適正化を進めるべきですし、BtoCは、企業側のコストアップをどのように消費者物価に反映させるかが課題ですが、勇気を持って価格転嫁できる環境が必要です。これまで日本の消費者物価指数はほぼ横ばいで推移して

きましたが、これからは、付加価値を向上させ、賃金も上昇させ、同時に消費者物価も上がるという、正常な状況に移り変わる分岐点に入りつつあると見えています。

収益を上げ、賃金原資を確保しなければ人手が確保できず、事業存続も危ぶまれる状況も想定されず。企業が自社の魅力を高め、生産性向上に対応できうる状況とするためには、その企業にあった支援メニューの提供等、細やかなサポートが必要です。

中小企業の自己変革と民間投資

一方、中小企業の自己変革については、企業の多様性を踏まえれば、全ての企業に適用されるような一般的な正解はありません。自己変革の骨格の内容は、各企業がそれぞれ考えなければなりません。人々の価値観や働き方等社会や環境が大きく変化する中で、例えば、どのような商品をどのマーケットに売り出すのか、また、合併や事業承継等にどう対応するか、そのためにどのようなプロセスを経るのか等、企業には多くのオプションがあります。地域の中小企業は現在も創意工夫を凝らしてイノベーションに取り組んでいますが、実際に自己変革を果たすことは容易ではありません。しかし、長寿企業と言われる企業の歴史を振り返れば、自己変革への挑戦の歴史に他なりませんし、中小企業は大企業に比べて、現場とトップとの距離が近く、マーケットの実態を把握しているため、自己変革を行う能力も高いというアドバンテージもあります。

その一方で物価高騰の克服には、一時的に痛みが生じるため、会議所は行政に対し、真に困窮する者の再建への支援に加えて、賃上げや投資の原資となる付加価値拡大に資する事業再構築等、中小企業の自己変革への取り組みや、円安を活用した中小企業の輸出拡大やインバウンド等を後押しする対策の拡充を強く求めてまいります。国内投資は、生産性向上やイノベーションを喚起し、良質な事業と雇用を生み出す原動力です。デジタル化や脱炭素等成長分野への大規模で長期計画的な支出により、企業の成長

期待を高め、民間投資を大胆に呼び起こす政策が必要です。

「停滞から変革」への転換期を迎える中、地域総合経済団体である商工会議所は、地域の官民連携の中核となり、社会課題の解決と経済成長の実現を目指し、生き残りをかけた中小企業・小規模事業者の挑戦を一丸となって伴走型で今後も支援してまいります。

街づくり

当市では現在、地ビール製造やフランスの老舗ワイナリーによるワイン製造プロジェクト、さらには、市内の酒蔵「五稜乃蔵」が国内の著名コンテストで最高賞を得る等、新たな酒文化の創造が進んでおります。会議所としてもこの「地酒」による街おこしをグリーンツーリズムの推進等、様々な形で後押ししてまいります。

世界遺産登録された縄文遺跡群の活用については、情報発信等の拠点となる施設を函館市内に設置するよう、鈴木知事に要望書を提出しました。この拠点施設については、特に施設の内容を更新できる地元人材の育成機能を持たせることも重要だと考えています。

さらに函館市とともに、会議所として設立の段階から関わっている西部地区の人口減少や空家・空地対策等の課題解決に取り組み、西部地区ならではの暮らしと風景を構築し、市内外の多様な人々の移住を目指す西部地区再整備事業と、新たな養殖産業の創生を図るべく、キングサーモンと昆布の完全養殖、人材育成を目指し、国の交付金事業に採択されている函館マリカルチャープロジェクトは、北大や市とともに特に注力していきたいと考えております。

未来を予測することが困難だからこそ「思い」が大切です。本年が会員の皆様とご家族にとって実り多く、健やかな一年となりますよう心より祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

新春特集

久保会頭体制3期目始動！

函館のために、会員のために、令和5年本所が取り組むこと

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年11月、議員総会にて正副会頭の選任がなされ、齊藤副会頭を新たに副会頭として迎え、久保会頭体制3期目が始動しました。

そこで、新春特集として、正副会頭の皆様に昨年の振り返りと令和5年の意気込みをインタビューしました。



新任



会頭 久保 俊幸
函館環境衛生(株) 代表取締役会長

～主な会議所活動～

日本商工会議所 常議員
北海道商工会議所連合会 副会頭
(一財)函館国際水産・海洋都市推進機構 評議員長
(公財)函館地域産業振興財団 理事長
在函館ラオス人民共和国名誉領事 等

昨年の振り返り

まずは、会頭に再任いただき、ありがとうございました。

令和元年10月、人口減少対策や企業の生産性向上、北海道縦貫自動車道七飯-大沼公園間の早期着工等を推進していくことを掲げ、2期目の任期をスタートしましたが、その直後コロナ禍が始まり、**会員企業に対する対策融資の利子補給や緊急中央要望、ワクチンの職域接種等**の支援策を全国に先駆けて実施しました。その一方で、当初計画していた事業の中には、まだこれから力を尽くさなければならない事業も多くあることから、この度再び会頭として、職責を全うすることを決意いたしました。

3期目に入っただけで副市長らとともに台湾へ出向き、令和2年3月以降運休が続いている**定期航空便の早期再開**を要望しました。水際対策が緩和された今、コロナ禍で打撃を受けた観光の振興につなげるべく、行政と連携して強く要望してまいりました。今後も観光客の誘客に引き続き取り組みたいと思います。



▲職域接種の様子



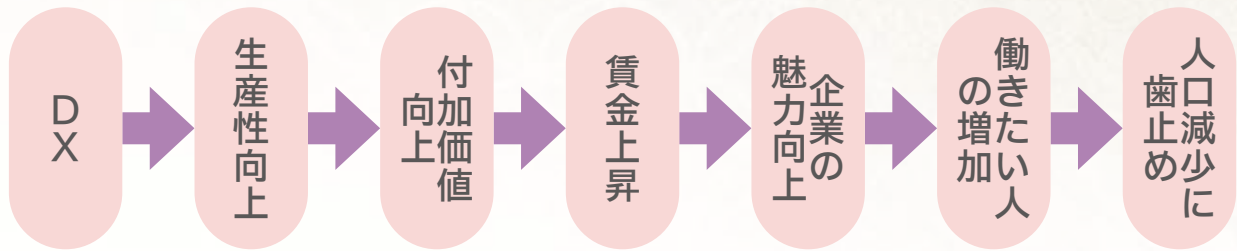
▲台湾トップセールス出発式の様子



▲3期目就任記者会見の様子

令和5年の意気込み

3期目就任の際の記者会見でも申し上げましたが、**人口減少対策**は最重要課題として取り組みます。そのための手段の一つとしてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、このようなフローを生み出したいと考えます。



会員の皆様のお力をお借りしながら、函館のために全力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



境 勝則
(株)トショウビルサービス
代表取締役社長

～主な会議所活動～

担当部会：商業・金融・不動産・情報
担当委員会：総務、中心市街地活性化
道南縄文文化推進協議会 会長
函館マラソン大会協賛会 会長 等

昨年の振り返り

コロナとの共生を図りながら動き出した一年だったと思います。

函館マラソン大会が3年ぶりの開催となり、約4,800人のランナーをお迎えしました。ランナー・運営スタッフ全員に対して検温と体調チェックシートの提出を義務付ける等の対策を徹底したところ、コロナについては大きな混乱なく終了することができました。こうした感染対策は、イベントが多い函館市にとって、良い前例になったと思っています。

また、世界遺産登録された縄文遺跡群の活用について、**情報発信等の拠点となる施設を函館市内に設置**するよう、鈴木知事に要望書を提出しました。17構成資産のうち、6資産を有する北海道として情報発信、調査・研究、人材育成等を一元的に行う縄文世界遺産センター設置の重要性を訴え、道内の設置は交通面等を含めて当市が最適であることを伝えました。この縄文拠点施設の設置については、各方面での調整も必要で、今後も函館市や近隣の商工会と連携を図りながら、機会をとらえて要望してまいります。

令和5年の意気込み

より安心安全な函館マラソン大会運営を行いたいです。その一つとして、令和5年の開催日を6月25日に決定しました。昨年は大変暑く、完走率が大幅に減少したことから、酷暑リスクを回避するために6月の最終日曜日に移動する判断に至りました。4年ぶりに一般参加の申込受付も再開することから、実行委員会と協力しながら安心安全な大会運営を目指します。



▲北海道への情報発信等拠点施設設置についての要望

また、**縄文遺跡群へのアクセス改善**に取り組みたいです。縄文遺跡群が世界遺産登録を受けて1年が経過し、函館市教委によるとコロナ禍前の令和元年度の縄文関連施設の来場者数は約3万人に対し、登録された令和3年度は2.7倍の約8万人になりました。世界遺産登録効果を感じる一方、縄文遺跡群の中で最も著名な三内丸山遺跡の令和元年来場者数約20万人と比較すると、少し寂しい状況です。この状況の改善に向け、アクセス向上を目指したいと思います。具体的には、昨年市にて様々な運行実験が行われましたので、その結果をヒアリングし本所としてできることがないか、必要であれば運輸・交通・港湾部会等と連携をしながら検討します。これにより、多くの方に縄文遺跡群や函館の魅力を届ける仕事ができればと思います。



村瀬 充
(株)村瀬鉄工所 代表取締役社長
 ~主な会議所活動~

日本商工会議所 IoT・AI・ロボット
 活用専門委員会 委員
 担当部会：工業、農水産
 担当委員会：産学官連携、
 銭亀沢支所運営特別
 函館経営者協会 会長 等

昨年の振り返り

道南の食の魅力が高まった一年だったと思います。私は、9月にワイナリーの地鎮祭に参加しましたが、函館山を望むブドウ畑を見たときに、世界に誇るワインが函館で生まれる未来を思い描き、大変高揚しました。その他、地ビールや日本酒等新たな酒文化の創造が進んでいます。本所としても「地酒」による街おこしを様々な形で後押ししたいと考えています。

また、デジタル化の推進にあたっては、本所では6月より**パソコン教室を開講**しました。初心者向けから資格取得対策講座まで幅広く全68講座を用意しており、好評をいただいております。今後さらに受講者数や講座内容が増え、**IT人材を地域で育成**することにつながればと思います。



▲函館で収穫された
 ピノワールとシャルドネ

令和5年の意気込み

函館マリカルチャープロジェクトを積極的に支援したいと思います。函館マリカルチャープロジェクトとは、**キングサーモンとマコンプの完全養殖技術**、水産養殖研究を推進し、地域で養殖産業群を形成するとともに、その現場での実践的な教育研究により企業と若者を集め地域に定着させることで、持続可能な水産・海洋都市の実現を目指す取り組みです。11月には函館大森海域に設置された浮沈式生け簀にサクラマスを投入し、前段階となる海面養殖試験が開始されており、順調に実験が進めば令和7年6月頃にもキングサーモンの成魚が出荷できる見通しです。地域に新たな産業が生まれることは、人口減少対策・地域の魅力づくりに大きく寄与します。本所としては、将来的に中間育成施設の設置や販路開拓等について協力したいと思います。



中野 恒
五稜郭タワー(株) 代表取締役社長
 ~主な会議所活動~

日本商工会議所
 観光・インバウンド専門委員会 委員
 担当部会：観光・飲食・サービス
 担当委員会：国際化、CCI連携
 道南台湾観光友好協会 会長 等

昨年の振り返り

感染拡大の不安を抱えながらも、経済回復に向け、にぎわいを取り戻しつつある一年だったと思います。弊社の五稜郭タワーでも令和4年1~9月の累計利用者数は前年同月より3.5倍の約43万人で、日本人客に関してはコロナ前の水準に戻っています。10月から始まった全国旅行支援や水際対策の緩和、円安により、今後さらなる入込客数の増加に期待しています。

一方で、観光業界においては雇用が他業界に流れたまま戻らない状況により、**人手不足**が最大の課題となっています。宿泊施設によっては、需要があるにもかかわらず稼働率を抑える動きもあると聞かれますが、こうした機会損失は可能な限り避けなければなりません。そのためにも、**DXの推進**は必要だと思います。観光業というと人と人が接するサービスが重きを占めてきましたが、だからといってすべてをマンパワーに頼ることはなく、自動化できる部分に関して設備を取り入れることは効果的です。そのためにはそれ相応の投資が必要なので、行政にはそういった分野への支援を要望したいと思います。



▲観光客でにぎわう五稜郭タワー展望室

令和5年の意気込み

「函館土産の定番お菓子はこれだよ」と市民が口を揃えて言える商品をつくりたいです。函館は美味しいスイーツが豊富ですが、土産品に向いている商品は少なく、そこにビジネスチャンスがあると思います。お菓子激戦区北海道において容易なことではありませんが、函館には素材も、製造者も、学術研究機関も豊富にありますので、連携を図りながらこの任期中に開発へのロードマップを描きたいと思います。

また、令和5年2月に「青函パートナーシップ構築懇談会」を4年ぶりにリアル開催する予定です。記念すべき10回目となりますので、多くの方にご参加いただき、青函連携商品の開発やビジネス交流につなげていただければと思います。



松栄堂×北海道乳業

ヒトナツノイチ

北海道プロセessesと生産量日本一の青森カシスを合わせたやわらか大福青函ソインシティ25周年コラボスイーツです



松栄堂×北海道乳業

なとわ

「なとわ」は津軽の方で「あなたとわたし」函館の牛乳と青森りんごを使ったミルク饅頭です



松栄堂×北海道乳業

津軽の恵み

北海道牛乳を餡に練り込み、津軽りんごを上にした牛乳菓子です



ほとや製菓×五稜卸タワー×北海道乳業

青函パイ

青森りんごを使ったりんごパイと函館クリームチーズパイの融合です

青森のウマイ × 函館のウマイ そして互いの技術のコラボレーションをご堪能ください



ほとや製菓×青森県

のっけ井茶漬

青森のホタテ、しいたけ、サケ、函館の塩辛をフリーズドライしたお茶漬です



ほとや製菓×青森県

イカジャッキー

「いかの塩辛」をそのままフリーズドライした、おつまみです



ほとや製菓×医食同源

海峽ふりかけ

海峽塩・海峽塩胡椒
津軽海峡の海底からくみ上げた海水で作られた天然塩と函館産の海産をブレンドしました



COFFEE COLORS×グリーンパティオ

サクラドリッパック

コストカミマイクロミルクを配合し、生んだ奇跡のコーヒーを開発ドリップでお楽しみください

▲青函パートナーシップ構築懇談会にて開発された商品



齊藤 大介
齊藤建設(株) 代表取締役
～主な会議所活動～

担当部会：建設・土木、運輸・交通・港湾
担当委員会：高速交通促進

自己紹介・昨年の振り返り

この度副会頭を拝命いたしました齊藤です。微力ながら函館経済の発展のために尽力したいと思います。

座右の銘は「親しき中にも礼儀あり」、趣味は「食、ゴルフ」です。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年は副会頭を仰せつかった節目の一年でした。重責に身の引き締まる思いです。副会頭としての活動はこれからですが、建設業者の立場から地域のために知恵を絞りたいと思います。また、会員の皆様が会議所に対して意見を言いやすかったり、困ったことがあれば相談ができたり、頼りにされる組織づくりに取り組みたいと思います。

令和5年の意気込み

私は正副会頭の中で唯一の建設業界ということで、当市の人口減少に伴う人手不足については、日々肌で感じているものがあります。こうした中で、ICTを取り入れた技術開発や多様な働き方の実現、SDGs等にも力を入れております。例えば、弊社では正社員60人のうち女性は5人、そのうち2人が技術職ですが、女性活躍推進のための行動計画を策定し、道の働き方改革推進企業の認定も受けました。こうした知見を活かし、会議所事業への反映やノウハウの共有を通じて、会員の皆様のお力になればと思います。



▲MR（ミックスリアリティ）を活用した施工管理システム



本年もよろしく
お願い申し上げます。

公 頌

有限会社赤坂葬祭
代表取締役社長

赤坂成二

大縄町二―一〇

株式会社
近藤商会
代表取締役社長

相川良夫

西桔梗町五八九

株式会社 布目
代表取締役

石黒義男



浅野町四―一七

イシオ食品株式会社
代表取締役会長

石尾清広

湯浜町一―一七

野村證券株式会社函館支店
支店長

新井洋平

本町三一―一五

函館山ロープウェイ株式会社
代表取締役社長

浅井忠美

元町一九―七

株式会社松本組
代表取締役社長

大越雄司



吉川町四―三〇

株式会社NTT東日本―北海道北海道南支店
取締役北海道南支店長

遠田弘紀

東雲町一四―八

北海道パークネット工業株式会社
代表取締役

井村元昭

北斗市追分五―六―二〇

北海道太平洋生コン株式会社
代表取締役社長

井町孝彦

昭和二―二七―二六

株式会社川股設備工業
代表取締役

川股幸徳

桔梗町六九五―五

株式会社リージャスト
代表取締役

折谷泉

桔梗町三七九―一九

株式会社岡村工業
代表取締役社長

岡村茂

東山町一七八―二一

株式会社道南メディカル
代表取締役

岡村賢

湯川町二―四〇―一六

春

(五十音順)

株式会社東京商工リサーチ函館支店
支店長

菅野 征幸

本町六―七
函館第一ビルディング4階

函館トヨペット株式会社
代表取締役社長

河村 隆平

石川町一六九―三五

株式会社商工組合中央金庫函館支店
支店長

久保田 幸秀

五稜郭町三三―一
五稜郭フコク生命ビル1階

函館環境衛生株式会社
代表取締役会長

久保 俊幸

代表取締役社長

久保 俊彦

金堀町五―二三

三井住友海上火災保険株式会社
北海道支店函館支店
函館支店支店長

清沢 宏次

若松町一四―一〇
函館ツインタワービル10階

紀の國建設株式会社
代表取締役

紀 國隆二



昭和一―三一―八

大明工業株式会社
代表取締役

小林 正明

栄町一―二―一八

株式会社丸伊小林建設
代表取締役社長

小林 淳一

美原五―四四―二五

株式会社アドバンス
代表取締役

小坂 三男

本通一―五〇―九

函館エヌデーケー株式会社
代表取締役社長

小浦 一也

鈴蘭丘町三―六三

社会福祉法人函館大庚会
特別養護老人ホーム「松濤」
常任理事・施設長

今 千尋



松風町一八―一五

株式会社古清商店
代表取締役社長

古伏 脇隆二

日乃出町一五―一

株式会社函館国際ホテル
総支配人

小林 睦明

大手町五―一〇

及明ビル管理株式会社
代表取締役

小林 真樹

本通一―五―一三

株式会社今井工務店
代表取締役会長

齊藤善美

西桔梗町八四九―一二

ニューオーテ齋藤株式会社
代表取締役社長

齋藤利仁

若松町八―八

齊藤建設株式会社
代表取締役

齊藤大介

田家町一五―一二

株式会社青函設備工業
代表取締役

齋藤秀司

宝来町二三―五

株式会社アサヒ商材
代表取締役

佐藤清治

神山三―四八―一四

函館三菱ふそう自動車販売株式会社
代表取締役

佐々木真

昭和三―三二―二六

株式会社ニシカワ産業
代表取締役

佐川貴一

桔梗町四〇六―四一

株式会社ト―シヨウビルサービス
代表取締役社長

境勝則

中道一―一―一二

龍文堂印刷株式会社
代表取締役

庄司澄枝

日乃出町二八―二



澤田商事株式会社
代表取締役

澤田暁

北斗市飯生一―一四―一

大樹生命保険株式会社函館支社
函館支社長

佐藤雅浩

梁川町五―八

株式会社北海道新聞社函館支社
支社長

佐藤正基

五稜郭町三一―三

函館どつく株式会社
代表取締役社長

関川義紀

弁天町二〇―三

株式会社富士サルベージ
代表取締役

須田新崇

大町八―二五

株式会社鈴木商店
代表取締役

鈴木新太郎

北斗市東前八五―六三

株式会社菅原組
代表取締役

菅原修

浅野町四―一六

株式会社高橋組
代表取締役社長

高橋 則行



高盛大町三―二〇

北海道万入株式会社函館支店
執行役員函館支店長

高橋 憲司

万代町八一―

株式会社道水
代表取締役社長

高野 元宏



豊川町二七―五

潮産業株式会社
代表取締役

外崎 浩之

西桔梗町五九―一三三

株式会社魚長食品
常務取締役兼営業本部長

田中 覚也

豊川町一ニ―一二

北海道乳業株式会社
代表取締役

田島 英久



昭和三―六―六

株式会社竹田食品
代表取締役社長

竹田 寿広

浅野町三―一〇

函東工業株式会社
代表取締役社長

高山 則夫

浅野町三―一一

株式会社ホテル函館ロイヤル
代表取締役

津田 則忠

大森町一六―九

辻木材株式会社
代表取締役社長

辻 将大

北斗市七重浜八―九―一二

株式会社日本政策金融公庫函館支店
支店長

千田 大貴

豊川町二〇―九

道南うみ街信用金庫
理事長

田原 栄輝

上新川町一―二五

株式会社シマデン産業
代表取締役

中島 康弘

本通三―二七―一六

株式会社エヌイーシー
代表取締役会長

永井 英夫

末広町二二―一

戸沼岩崎建設株式会社
代表取締役社長

戸沼 淳



湯川町二―二一―二

株式会社プロテック
代表取締役社長

富樫 孝樹



北斗市追分三―六―九

有限会社花のいまい
代表取締役

西村由紀

富岡町三―二五―一三

成沢機器株式会社
代表取締役

成澤茂

宮前町一六―一

五稜郭タワー株式会社
代表取締役社長

中野恒

五稜郭町四三―九

株式会社高木組
代表取締役社長

中田俊一郎

東雲町一九―一三

株式会社ソイル・ONE
代表取締役

日沼史年

上湯川町六七―一一

あいおいニッセイ同和損保株式会社
北海道支店函館支社
支社長

稗方健介

若松町一四―一〇
函館ツインタワービル8階

税理士法人浜津会計事務所
代表社員

濱津隆

東雲町一―八

株式会社二本柳慶一建築研究所
代表取締役

二本柳慶一

杉並町四―二三

株式会社工藤組
代表取締役会長

福西秀和

石川町一六九―七

株式会社北陸銀行函館支店
支店長

広瀬賢一

若松町二〇―一

株式会社PHG函館マネジメント
フオーポイントバイシエラトン函館
総支配人

廣川真由美

若松町一四―一〇

株式会社ヒラヤマサイ
代表取締役

平山孝敏

昭和三―一三―一〇

エコー保険株式会社
代表取締役

松浦慎太郎

富岡町二―四五―七



堀田法律事務所

堀田剛史

新川町二三―一
函新ビル

株式会社ホリカワ
代表取締役

堀川昭雄

北斗市追分三―三―一〇

アクサ生命保険株式会社
函館営業所長

藤田誠一

本町八一―八
ベストアメニティ五稜郭ビル4階

昭栄設備工業株式会社
代表取締役

村田信吾

美原三―三八―三一

株式会社村瀬鉄工所
代表取締役

村瀬充

昭和一―三四―一

山三伊藤商事株式会社
代表取締役

宮崎昌

豊川町六―九

ホンダカーブズ南北北海道株式会社
代表取締役会長

松本榮一

鍛冶二―三八―七

佐藤電気工事株式会社
代表取締役

八尾貴久男

富岡町一―三九―五

株式会社北海道銀行函館支店
常務執行役員函館支店長

森山正徳

本町七―一八

株式会社森川組
代表取締役社長

森川基嗣

海岸町九―二三

函館バス株式会社
代表取締役社長

森健二

高盛町一〇―一

有限会社吉田メデイカル
代表取締役社長

吉田元

東雲町六―一

函館商工信用組合
理事長

山本富靖

千歳町九―六

株式会社ジャックス函館支店
支店長

山内敦

若松町二―五
明治安田生命函館ビル5階

北海道エアポート株式会社
函館空港事業所
事業所長

八島聡

高松町五一―一

皆様

本年もよろしく

お願いいたします。

株式会社はこだてティーエムオー
代表取締役社長

渡辺良三

若松町一八―一

金森商船株式会社
代表取締役

渡邊政久

末広町一四―一二

株式会社北洋銀行函館中央支店兼末広町支店
常務執行役員支店長

米田和志

若松町一五―七―一一



Vol.105

会員NOW

テーマ 自慢の逸品を伊勢神宮に奉納

マルジョウ多喜屋

代表 坂本 修一

マルジョウ多喜屋

創業は令和元年ですが、先祖代々昆布漁師をしており、祖父の代から昆布の養殖を始めました。

今回伊勢神宮に奉納した液体昆布だし万能調味料「^{けんこんいつてき}献昆一滴」の開発のきっかけは、世間にあふれる様々な液体昆布だしを食べてみて、「尾札部の昆布ならもっとおいしいものをつくることができる」と思ったことです。また、昆布漁師の仲間にも自分たちが作った昆布がどのように消費者の手に渡るのか、その着地点を商品を通じて見せたいという思いもありました。

試作・試食を重ねながら、2年寝かせた尾札部産の白口浜昆布の根昆布・一番切り部分を従来品の2倍使い、昆布の上品な味わいを凝縮した万能調味料をつくることができました。

昆布の一番切り部分とは



根昆布から順においしいですがでもとも言われています。

「寝かせる」といってもただ置いておくというわけではなく、収穫後乾燥させた昆布を雨が多い時期に一度外に出して湿らせ、再び乾燥させています。この熟成により、今はほとんど取ることができない天然昆布に近い味わいになると思います。



▲2年寝かせた昆布はうまみ成分の白い粉がたっぷりピンとしている。

液体昆布だしはしょっぱいものも多いですが、このまろやかさを一度体験していただきたいです。全国各地の物産展に出展する中で、試飲をしてくださった方のほとんどが買ってくださるんですよ。

奉納が決定したときは、函館で初めてということもあり、本当に嬉しかったです。漁師仲間たちも喜んでくれて、昆布づくりの励みになったと思います。このことを受けて、商品の問い合わせも増えましたが、バイヤーの皆様には「まず商品を一度味わってみてください」とお伝えしています。大切な商品なので、本当に良いと感じてもらってから扱ってほしいと思っています。



▲奉納証明書と外宮奉納証マークが貼られた商品

伊勢神宮外宮^{げぐう}産品奉納とは

伊勢神宮外宮の御祭神「^{とよつけおおかみ}豊受大神」は、お米をはじめ衣食住の恵みをお与えくださる産業の守護神です。生産者が食と産業の神様である伊勢神宮外宮に自然の恵みへの感謝をささげ、正直なモノづくりを誓い、丹精込めて作られた自慢の逸品を奉納します。地元の伊勢商工会議所が年に数回全国から奉納品を募り、審査を経て奉納品が決定します。

昆布の可能性は無限大

まずは「^{けんこんいつてき}献昆一滴」の改良を進めたいです。例えば、粉末や顆粒にしたほうが使いやすいという方やレシピもありますよね。改良できた際には、また伊勢神宮奉納にエントリーしたいです。他にも、日々少しずつ気軽に昆布を摂取できるような商品開発に取り組んでいます。

また、昆布は栄養豊富で、ミネラルは牛乳の約23倍、カルシウムは約7倍、鉄分は約39倍とされています(※)。昔からアフリカの子どもの飢餓問題をなんとかしたいと思っていたので、昆布の力で変えることができないか、試行錯誤しています。

ビジネスは発想と驚きです。献上昆布の里 尾札部から昆布のさらなる可能性に挑戦したいと思います。

※出典：(一社)日本昆布協会(2022)。

「昆布の効能」. こんぶネット. <https://kombu.or.jp/power/eiyou> (参照2022-12-6)

マルジョウ多喜屋

住 所：函館市尾札部町431-1

TEL・FAX：0138-63-3750

公式ウェブサイト <https://www.marujou-takiya.com/>



はこだてFOODフェスタ2023

「函館・道南の食」の魅力が大集結！食べ歩き、食べ比べも楽しいグルメイベント！

「食」の魅力度をさらに向上させ、交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化を目指し、「食」をテーマとしたイベントを実施し、「函館の食」を広く発信するとともに、イベントを通じて、生産者、料理人等食関連事業者間の連携を深めることで、函館市の食の魅力向上を図ることを目的とします。



開催概要(予定)

- 事業名：はこだてFOODフェスタ2023
- 日程：2023(令和5)年2月25日(土)・26日(日)
1日目／11:00～20:00
2日目／10:00～17:00
- 会場：函館アリーナ メインアリーナ
- 〈主催〉はこだてフードフェスタ実行委員会
- 構成員：函館市(経済部・観光部・農林水産部)、函館商工会議所、
(一社)函館国際観光コンベンション協会、北海道新聞函館支社



【コロナウイルス感染症対策を実施】

本イベントはご来場いただく皆さまが安心して楽しんでいただけるように対策を整備して実施いたします。

実施内容(予定)

FOODアカデミーキッチンステージ・体験ブース

料理教室や調理実演など、
函館・道南の食の魅力を体験

テーマブース

お好み海鮮丼、塩ラーメン、
ご当地カレーなどの販売

フード・スイーツブース

函館・道南の事業者による地域食材を
使用したフード・スイーツの販売

マルシェブース

函館・道南の生産者らが育てた食材や
地域産品を販売

限定販売ブース

函館の高校・専門学校・大学生らが工夫した
メニュー・商品を数量限定で販売

企業PRブース

本事業にご参画・ご協力いただく
企業・団体の情報発信ブース



イベントについてのお問い合わせ先

事務局：函館市経済部食産業振興課（担当：今野、加賀谷）

TEL.0138-21-3314 FAX.0138-27-0460 E-mail foodfesta@city.hakodate.hokkaido.jp